



パワー結集！新入社員紹介



～仕事にかける意気込みに期待～

目次

- ・パワー結集！新入社員紹介…………… 1
- ・新病院建設…………… 2
～さらなる「安全・安心で質の高い地域医療の充実」をめざして～
- ・"寄贈：四輪駆動車,雪道も心強いです!" …… 3
- ・年を重ねて15回【食品まつり】食の健康と楽しさ伝えます。… 3
- ・「赤十字ふれあいデー」開催案内…………… 4
- ・第5回 いきいき介護 リハビリ教室 開催案内… 4

基本理念

かかってよかったと思ってもらえる病院に

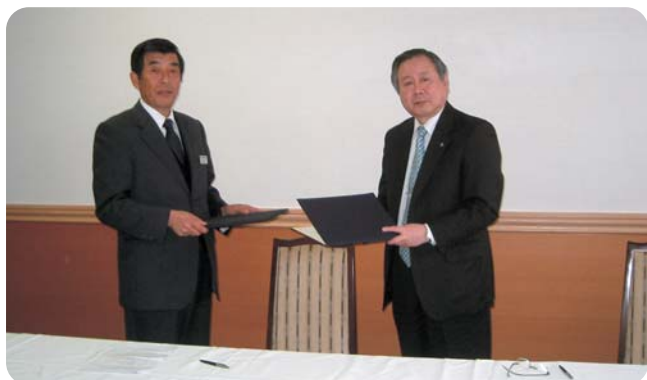
基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくります。
2. 日々の研鑽を惜しまず、医療の質の向上に努めます。
3. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

新病院建設 ～さらなる『安全・安心で質の高い地域医療の充実』をめざして～

病院建設課長 杉原 敏夫

【土地売買契約書交換確認書調印式】



(左から 栃木県土地開発公社 関口 前理事長、当院 宮原 病院長)

平成22年3月8日、移転用地である中田原工業団地C区画の土地売買契約書交換確認書調印式が、移転用地の所有者である栃木県土地開発公社様と当院の間で執り行われました。

調印式では、栃木県土地開発公社 関口 眞弘 前理事長と当院 宮原病院長が確認書に署名、捺印し、契約書の交換を確認しました。

平成22年4月30日には、土地受け渡しを終了し、移転用地は名実ともに日本赤十字社のものとなりました。



平成22年3月30日、大田原赤十字病院新築移転に伴う財政支援に関する協定書調印式が、第5期栃木県保健医療計画に定める「県北保健医療圏」の那須地区、塩谷地区及び南那須地区の5市4町（大田原市、那須塩原市、那須町、矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢市、那須烏山市、那珂川町）様と当院の間で執り行われました。

調印式では、地区ごとの代表である、那須地区の 栗川 仁 那須市町村会長（那須塩原市町）、塩谷地区の 遠藤 忠 塩谷広域行政組合管理者（矢板市長）、南那須地区の 大谷 範雄 南那須地区広域行政事務組合組合長（那須烏山市）と当院 宮原病院長の間で調印が行われました。

このたび、当院の移転新築への財政支援として格別なご配慮をいただけるのも、当院が、県北保健医療圏の地域中核病院としての責務を果たすことを期待されての事だと認識し、今後もお一層「安全・安心で質の高い地域医療の充実」に向け職員一同邁進してまいります。

【大田原赤十字病院新築移転に伴う 財政支援に関する協定書調印式】



(左から 当院 宮原 病院長、大谷 南那須地区広域行政事務組合組合長、栗川 那須市町村会長、遠藤 塩谷広域行政組合管理者)



【新病院模型】



平成21年度を持ちまして、実施設計が終了しました。

実施設計では、詳細な設計図の作成、構造計算等各種計算・解析を行い、約1,000枚からなる設計図書が出来上がりました。この設計図書をもとに新病院の建設工事が行われることとなります。

現在、新病院の建設工事を担当する施行業者選定作業を進めており、6月中には決定する予定です。

"寄贈:四輪駆動車,雪道も心強いです!"

訪問看護ステーション 管理者 宮崎 照子

このたび、シャンドールCMSこすもクラブ様より日本赤十字社を通じて訪問看護車両を寄贈頂きました。訪問看護ステーションは平成10年12月に指定老人訪問看護ステーションとして栃木県より指定を受け営業を開始し、平成12年度から介護保険制度に伴い訪問看護及び居宅介護支援（ケアマネジャー）事業を展開してまいりました。当初2台の軽乗用車と自転車で訪問しておりましたが、その車も13年経過し走行距離も12万キロとなり、故障により部品の交換などもありました。そんな折、このたびのお話があり大変うれしく思います。効率の良い訪問で収益を上げたいと思いますが、時には遠方でも「当ステーションでなければ」という患者様の依頼に応えられるよう相談に応じたいと思います。母体病院からの患者様が安心して在宅で過ごせるよう、また、医

療依存度の高い患者様の早期退院に関わっていけるよう頑張りますのでどうぞ訪問看護のご依頼をお願いいたします。



年を重ねて15回 【食品まつり】 食の健康と楽しさ伝えます。

栄養課長 松田 千鶴

2月6日（土曜日）に第15回食品まつりを開催しました。今年もメタボリックシンドローム対策というメインテーマを掲げて生活習慣病と関わり深い食事について、食品の展示や説明を通して、参加者がより正確な情報の選択ができること、その関わった職員自身も健康を考えられる良い機会となっています。医師をはじめ、病院内の殆どどの食種からなるスタッフは50名ほどで、糖尿病療養指導士（CDE）、感染対策委員、人間ドック健診情報管理士なども毎年携っており、チームでの活動を実践しています。糖尿病予防、メタボ予防、骨粗鬆予防をメインとして、ストレスチェックやSMBG（自己血糖測定）、健康栄養相談、感染対策、特定健診・特定保健指導の説明もいれ、喫茶やゲームコーナーで一息ついてもらいました。食品まつり当日は雪が降りしきる

寒い日にもかかわらず10代から70代まで幅広い年代の方からの大勢の参加がありました。例年参考にアンケートを行っており、毎回貴重なご意見を多数いただいています。60代男性から『もっと多くの方々に知ってもらいたいと思った』とあり、3回目の参加で食品まつりに参加したことで血糖値が変り無く安定しているとも書いていただきました。始めて新聞掲載の記事を見て参加してくれた20代女性からは、今回の食品まつりがとても得る物があったので家族だけでなく、周りの人々にも伝えたいという嬉しいコメントがありました。最後に当院の領収書の裏面で知った60代女性からのご意見を紹介します。『雪の中来て心も身体もポカポカです。皆様の説明がとても良く緊張がとけました』今後も食品まつりを継続する勇気をいただきました。



「赤十字ふれあいデー」開催案内

平成22年度「赤十字ふれあいデー」

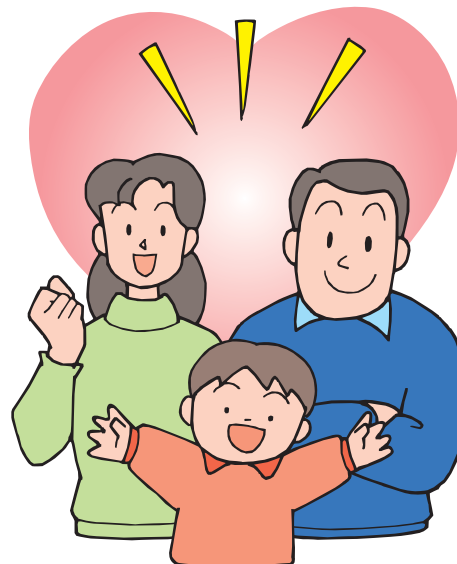
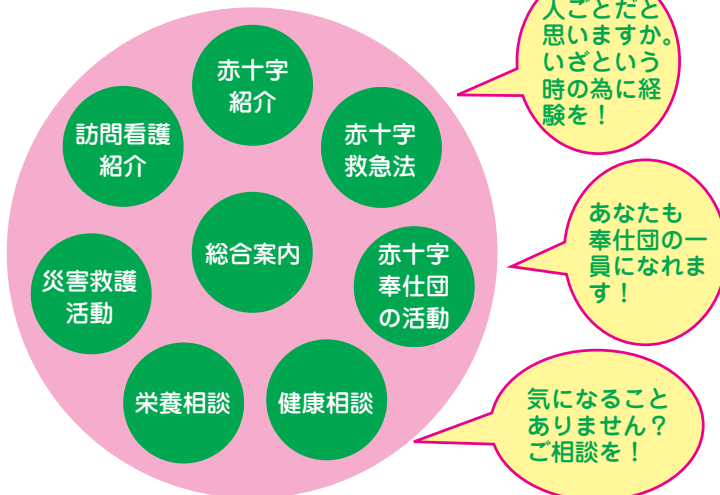
テーマ 「命を救う、力を合わせよう。」

日時：平成22年5月15日（土）

10時00分～15時00分

場所：救急棟1階フロアー

赤十字を身近に感じてみませんか？



第5回 いきいき介護 リハビリ教室 開催案内

第5回：口腔ケアと認知症予防

第1部「お口の中を見直そう」

第2部「ボケないために今できる事」

日時：平成22年5月15日（土）

AM10:00～11:00

場所：D館1階 理学療法室

※興味のある方なら、どなたでも参加できます。

参加費無料！申し込み不要！

お気軽にご参加ください

主催：大田原赤十字病院

リハビリテーション科

TEL 0287-23-1122

(内線：2630)



大田原赤十字病院広報誌たわら NO.9

発行日 2010年5月

発行者 大田原赤十字病院

〒324-8686 大田原市住吉町2-7-3

<http://www.ohtawara-jrc.com>

TEL 0287-23-1122

FAX 0287-23-3004

印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ印刷